





## 重点目標に沿った事例（中学校）

## （１）中学校 1 年生の取組事例 1

ICTスキル項目	(1) 基本的な操作等 (イ) カメラ機能活用
学習活動名	音楽「ボディパーカッションに挑戦しよう！」 (アプリ: MetaMoJi Classroom)
学年	1年
学習活動・ICT活用の概要	<p>【目標】音の出し方を試行錯誤しながら、ボディパーカッションの表現をグループで創意工夫する。</p> <p>【概要】タブレットPCの録画機能を活用し、自分のグループの演奏を客観的に確認し、音の出し方や、表現等を試行錯誤し、よりよい演奏となるよう創意工夫する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>1.演奏を録画している様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2.演奏を確認している様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>3.タブレットの画面</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4.演奏を見て話し合う様子</p> </div> </div>



- ・カメラ機能はたくさんあるが、授業で活用して、自分の変容を記録して気付くなどは、英語や国語の朗読や体育や音楽などの表現活動で使い勝手が良いものであり、広げる手段として好事例。
- ・誰でも（授業の）どこからでも取り組むことができる事例。

( 2 ) 中学校 1 年生の取組事例 2

ICTスキル項目	( 1 ) 基本的な操作等 (ア) アプリケーション操作
学習活動名	技術・家庭(家庭分野) 「バランスの良い食事について考えよう」
学年	1年
学習活動・ICT活用の概要	<p><b>中学生に必要な1日分の食事について考える。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・献立作成ツール(Excelで作成)で、献立の組み合わせを考える。その後、考えた献立の食品群別摂取量を入力し、6群食品群のバランスを整える。</li> <li>・考えた献立をまなびポケットを活用して提出させ、献立をTVで提示して発表させる。</li> <li>・献立の工夫について、ワークシートに書かせたものをタブレットのカメラで撮影し、提出させて、TVで提示する。</li> </ul> <div data-bbox="564 1014 1401 1216" style="text-align: center;"> </div>

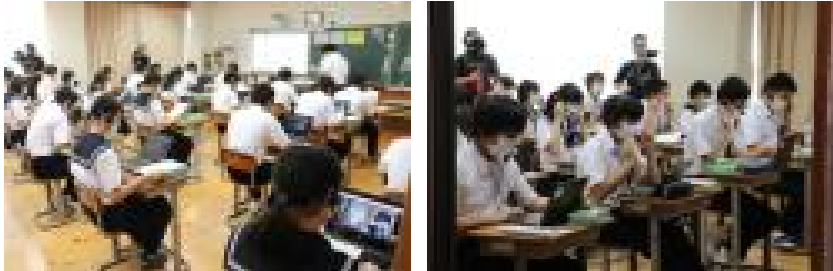
- ・複数のソフトを用いた、ICTの効果的な使い方を重視した取組。
- ・「エクセル」など、どの教員にも馴染みのあるソフトの活用例なので、他の教科でも使いやすい。
- ・この授業は、毎年続けることで、どんどん良いものになり、時間短縮などの業務改善つながる利点が考えられる。エクセルを使ってデータベース化することで、データ整理で時間がかかっていたが、短縮されて考える時間が生み出される。
- ・今後、栄養士や養護教諭との連携にもつながる。
- ・TVなど、現状の学校にあるものも積極的に活用している。
- ・1年生対象ということもあり、ICT活用が複雑な操作にならないような配慮や工夫が見られる。

( 3 ) 中学校 2 年生の取組事例

I C Tスキル項目	( 1 ) 基本的な操作等 ( ウ ) 文字入力 ( 2 ) 問題解決・探究における情報活用 ( エ ) コミュニケーション力
学習活動名	数学 各単元の予習
学年	2 年
学習活動・I C T活用の概要	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>数学で単元を進む際に，生徒に予習が必要となる問題と解答を与え，その解答への導き方をタブレットを利用して説明させている。生徒それぞれが，その単元についてTeamsのClass Notebookにまとめ，発表の際にオンライン会議の画面共有機能を用いて説明させている。</p> <p>「思考・判断・表現」の「表現」の部分を補う内容となっている。</p>

- ・ I C Tを用いて解答へのアプローチを説明させることで，効果的にプレゼンテーション力を育むことができる好事例。
- ・ I C Tによって，必要なことを効率よくまとめ，思考する時間を十分に確保することができた好事例。
- ・ TeamsのClassNotebookの活用は，教科を超えた実践となっている好事例。

( 4 ) 中学校 3 年生の取組事例

ICTスキル項目	( 2 ) 問題解決・探究における情報活用 ( 工 ) コミュニケーション力
学習活動名	英語「AI Technology and Language」
学年	3 年
学習活動・ICT活用の概要	 <p>生徒同士のペアワークでGoogleMeetを活用した。別々のルームに生徒をペアで入れることで、席を移動せずにやりとりをすることが可能である。1 度目は、自分と意見が同じ生徒、2 度目は、自分と意見が異なる生徒とやりとりをさせることで、ペアワークに意味づけをして活動させることができ、対話活動の充実につながった。ヘッドセットを併用することで、他のペアの会話内容が混線することもなく、互いの意見を十分に伝え合うことができた。</p>

- ・オンラインを取り入れた授業は、今後、家庭における端末の活用を広めておくためにも、この事例のように日常から学校で行い、生徒たちが少しずつ慣れていくという意味で良い紹介になる。
- ・うまくオンラインが繋がらなかった時などでも、事例のような学習の経験が生き、トラブルを自分で回避・修正できるということを伝えられる。
- ・その場で、ペアワークできる手軽さや、いろいろな人と話し合いができる便利さを紹介できる事例。